

(別紙1) 試行運用概要

現行

注文口

②スタッフが注文を受け、支払い金額を伝達



①お客さまがマイクに向かって注文



店舗内

③ スタッフが商品を準備

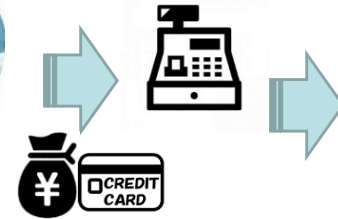


(商品受渡口に移動)



商品受渡口

④スタッフが注文内容を確認し ⑥スタッフがレジ処理
支払い料金を伝達



⑤お客さまが注文内容を確認し
料金支払い



⑦ お客さまが
商品を受領

ETC

注文口

②スタッフが注文を受け、支払い金額を伝達



①お客さまがマイクに向かって注文



店舗内

③ スタッフが商品を準備



(商品受渡口に移動)



商品受渡口

④スタッフが注文内容を確認し
支払い料金を伝達



⑥スタッフが端末に
支払い金額を入力
(決済確定)



⑤お客さまが注文内容を確認し、
支払い方法を伝達(現金などの受渡省略)



⑦ お客さまが
商品を受領

効果

お客さま: キャッシュレス化による利便性向上

店舗: 商品受渡口における決済処理の効率化(捌け台数向上)。

キャッシュレス化による接触機会の低減とそれに伴う感染症の感染リスクの低減。

※赤字は今回の試行運用で変更になる手続きです。